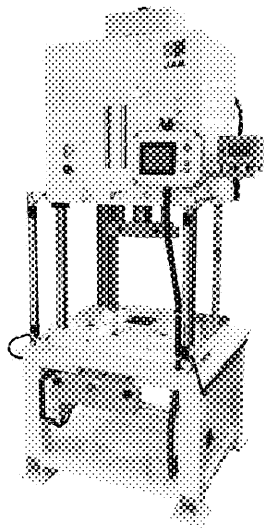


150^{キログラム}対応4柱プレス

日本オートマチック 口開き抑制

日本オートマチックマシン（東京都大田区、水野雅文社長）は、最大加圧能力150^{キログラム}まで対応した4柱フレーム型油圧プレス機「HGP150ZA」を8日に発売する。C型フレームの「HYP1500N」（150^{キログラム}）と差別化し、ユーザーの選択肢を広げる。消費税抜きの価格は専用台や光線式安全器、安全囲いがセットで720万円。初年度100台の販売を目指す。



ユーザーの選択肢を広げる4柱フレーム型油圧プレス機「HGP150ZA」

自動化ニーズ取り込む

自動車業界のCAS（コネクテッド、自動化しやすいHGPシリ）動運転シエアリング、電動化）に伴い、自動車の部品構成の変更に

追従できるように、自動プレスに150^{キログラム}タイプを投入する。4柱フレームの採用によ

て、金型でのプレス時に生じる口開きを、C型フレーム油圧プレスに比べて抑えられる。加工物を前後左右の

4方向から投入できる点など使い勝手を向上させた。併せてタッチパネルに主要操作スイッチを集約し操作性を向上させたほか、ティ

ーミングと見極め、現在の環境下で究極のプレスにした」（同社）としている。

8日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開幕する第31回日本

国際工作機械見本市（JIMTOF2022）に出展する。

1の手元での設定を可能にした。

本体寸法は高さ2442^{ミリメートル}×幅970^{ミリメートル}×奥行き870^{ミリメートル}。プレス本体の重量は1600^{キログラム}。加圧能力は66^{キログラム}150^{キログラム}。ストロークは最長200^{ミリメートル}。

日本オートマチックマシンは4月に創立90周年を迎えた。今回の新製品は100周年に向けた戦略製品と位置付け、今後シリーズ展開を検討する。「創業の節目の年を変革のタ

イミングと見極め、現在の環境下で究極のプレスにした」（同社）としている。

8日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開幕する第31回日本

国際工作機械見本市（JIMTOF2022）に出展する。

1の手元での設定を可能にした。

本体寸法は高さ2442^{ミリメートル}×幅970^{ミリメートル}×奥行き870^{ミリメートル}。プレス本体の重量は1600^{キログラム}。加圧能力は66^{キログラム}150^{キログラム}。ストロークは最長200^{ミリメートル}。

日本オートマチックマシンは4月に創立90周年を迎えた。今回の新製品は100周年に向けた戦略製品と位置付け、今後シリーズ展開を検討する。「創業の節目の年を変革のタ

イミングと見極め、現在の環境下で究極のプレスにした」（同社）としている。

8日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開幕する第31回日本

国際工作機械見本市（JIMTOF2022）に出展する。